

第2次環境基本計画 環境プロジェクトごとの平成26年度取組概要

環境目標像:水環境のまちニセコ

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成26年度実績	
1	水源地と地下水の保全	1 水道水源保護条例に基づく水源地の保全	水源地の地権者等への理解と協力を求めます。		○		・道条例に基づく土地所有者の移転について、事前届出の必要のない移転情報の更新を行った。	
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可申請案件なし。	
		2 地下水保全条例に基づく地下水の保全	規制対象井戸使用・予定者に対する理解と協力を求めます。		○		・ホームページによる条例の周知 ・窓口での問い合わせ対応	
	地下水の利用状況の把握に努めます。			○				
			工事等による地下水脈への影響が出ないように関係機関に要請活動を行います。	○	○			
			条例の充実に向けて検討します。		○		・許可1件(昆布トンネル工事に伴う工事用水)	
		3 地域住民等による水道水源地に関する情報の共有	水源地見学会やクリーンアップ作戦等により情報の共有を図ります。	○			・環境自治体会議ニセコ会議において、フィールドワークで水源地の視察を行った。	
	2	水辺の環境と生態系の保護・保全	1 尻別川流域町村による尻別川の自然環境を守る広域的な活動への積極的な参加	統一条例連絡協議会の活動を住民に周知します。		○		・尻別川連絡協議会ニュース第4号の住民配布
				統一条例連絡協議会と住民の意見・活動の交流の場を運営します。		○		
尻別川の水質保全、野生生物の生息状況等の調査や生態系の保護・保全を広域で統一的行います。					○		・後志地域生物多様性協議会(事務局:黒松内町)への参画	
2 河畔等水辺環境の生物調査と観察会の実施			真狩川下流域やカシュンベツ川有島記念館周辺等、河川環境と人間の生産活動の関わりが感じられる場所を選定して、親水活動の多様なプログラムをモデル的に実践します。	○	○		・水生昆虫観察会を2回開催(H26.7.6、7.31)	
			かつての澱粉工場跡や近年のマイクロ水力発電設置場所等、河川と人間の関わりを学び体験する場所の設定とプログラムをつくり	○	○		・マイクロ水力発電機の一般貸出し(実績2件)	
			親水活動を指導できる人材を発掘し、「環境マイスター」として活躍できる仕組みをつくり	○	○			
			地元学等の手法により、地域資源に根ざした体験プログラムを実践します。		○			
3 河畔林や魚付き林の保全・回復			尻別川統一条例連絡協議会が流域全体として取り組む事業として提案し、自主的に実践していきます。	○	○			
4 生物多様性のシンボルとしてイトウを守る			小学校におけるイトウの稚魚放流等、校外スクールを推進します。	○	○			
	イトウを守ることに実効性をもたらす新たな広域的な仕組みをつくり	○	○		・環境自治体会議ニセコ会議において、オビラメの会によるイトウ保護活動を紹介する分科会を開催			
		イトウの産卵・ふ化の適地選定と、保護活動を行う民間団体の活動に参加し支援	○	○		・オビラメの会への協力(採補許可申請協力)		
5 地域に存在する外来種については、これ以上の侵入を防ぐ方法について検討する	在来種と外来種の実態観察会を開催し外来種のペット等をなるべく飼育しないよう、また外来種ペットの飼い方に関する啓発を行います。	○	○		・桂地区地域固有環境情報調査の実施(環境省事			
	外来種の野生動物等による農業被害の実態を調べ、その駆除等の対策を進めます。	○	○					
6 本来の河川生態系を回復できるよう、河川の人工工作物を可能な限り自然に近い状態にする	統一条例連絡協議会として関係機関に働きかけるよう、積極的に活動します。	○	○					
7 河川等の水辺環境やその流域全体の自然景観を保全する	水辺環境や流域全体について、景観条例に基づく景観保全に取組みます。		○		・景観条例の運用 協議11件			
	町内で保全すべきと思われる景観について、住民参加により選出し、保全に向けた取組について検討します。	○	○					
3	水質の保全	1 尻別川とその支流の水質向上を図る	水質悪化の実態把握と改善方法、防止に向けた活動を行います。		○		・河川清掃活動(真狩村・京極町・蘭越町)	
		2 合併処理浄化槽等の排水処理施設の普及に向けた支援を継続	導入促進に向けた個別啓発を進めます。		○		・合併処理浄化槽の設置23件(うち、町補助金利用12件)	
			導入促進に向けた新たな支援策について検討		○			
		大規模な営業用施設等の排水水質規制を検討	○	○				
		洗剤等による汚染や浄化槽への影響等の勉強会を開催	○	○				
		排水の水質や排水先について、基準に即して管理を行います。	○		事業者			
		3 バイオトイレ等環境調和型処理システムの導入促進	様々なタイプの処理システムについての情報収集と比較検討を行います。		○			
		4 河畔へのごみ投棄の防止	農業者、釣り人等への啓発を強化	○	○	事業者		
			河川管理者や住民による巡回と監視活動	○	○			
1	整川の多様性を図る	1 河川の利用状況に関する情報共有の仕組みづくりを進める	河川に関わる様々な主体と尻別川統一条例連絡協議会の定期的な情報交換等により連携活動を行います。	○	○			
		2 河川の利用についてのルールづくりを進める	民間団体や各種河川利用主体による自主的なルールづくりの促進と、行政による支援を進めます。	○	○			

		環境プロジェクト		住民	行政	その他	平成26年度実績	
4	仕組 みづく りにつ いて調	3	灌漑溝や農業用排水路の水質 保全や親水性の確保等に向け たルールづくり	○	○		・有島謝恩会による有島灌漑溝の草刈清掃活動	
		4	水環境に関わり活動している民間 団体を支援する		○		・オビラメの会への協力(採補許可申請協力)	
5	森林環 境の保 全・育 成	1	天然林を守り育てる	○				
		2	水源地周辺の森林を守り育てる	○				
		3	人工林の育林を充実する	森林の伐採計画に伴う植林計画の適切な 遂行を見守ります。	○	○		
				森林整備計画(H24年度～)により適切な森 林管理を指導します。		○		・ニセコ町森林整備計画の進行
		4	里山(身近な自然)を育成する	植林に際して針広混交林の形成を誘導しま す。	○	○	所有者	・ニセコ森と緑の会活動支援(事務局:町)
				森の手入れに向けた有志のボランティア参 加の仕組みをつくります。	○			・ニセコ環境評価の会(住民団体)にて、有島地区を 里山として評価する調査を実施(報告書別紙)
		5	間伐材等木質バイオマスの利 活用を進める	里山の現状と利活用の可能性について把 握します。	○			
6	温室効果ガス(二酸化炭素)を 吸収する森林を植え守り育てる	共同利用に関する地元ルールを話し合っ て決めます。	○					
7	保全すべき森林等を含む総合 的な土地利用計画を策定検討 する	里山を住民が利用できるモデル地区をつ くります。	○		所有者			
		バイオマス資源としての新規利活用につ いて、事例収集等を行いながら、可能性につ いて調査します。	○	○				
1	環境と調 和した安 全・安心 な農産物 の生産	1	土づくりと地域循環型クリーン農 業の推進	二酸化炭素を効率的に吸収する樹種や樹 齢等について植林計画を作成し、適切な場 所に森を造成します。	○	○	事業者	
				保全すべき自生植物群落(カタクリ、エゾ リュウキンカ等)について住民参加により調 査を行い、保全モデル地区として設定しま す。	○	○		
		2	クリーン農産物の生産と流通促 進	総合的な土地利用調整計画を策定検討しま す。		○		
				有機質資源確保、完熟堆肥の計画的な 施用等土づくりの推進と支援を行います。		○	事業者	・土壌診断事業補助(1/2補助)
		3	人と環境にやさしい農産物の地 産地消を推進する	ニセコ町独自のクリーン農業認証制度につ いて検討を行います。	○	○	事業者	
使用肥料や農薬に関するトレーサビリティ情 報の地域内共有を進めます。				○	事業者	・普及センターとの連携		
4	休耕地、耕作放棄地等を環境 調和型の市民農園として活用検 討する	クリーン農産物に関する技術支援と人材育 成を進めます。	○	○	事業者	・ニセコビュープラザ直売会協働組合設置(H 25.5.17)		
		ビュープラザを含め、リゾート地や町内各地 に販売拠点をづくります。	○	○	事業者等			
2	自然エ ネルギー の削減 と温室 効果	1	自然エネルギーの導入拡大に 向けて多様な方式について検 討を進める	販売拠点での品質チェックシステムをつ くります。	○	○	事業者	
				品質を示すラベル表示システムをつ くります。	○	○	事業者	
		2	自然エネルギー研究会等の活 動を支援	農地流動化支援事業や農地利用集積事 業、国営農地基盤整備事業等による不耕作 地の実態調査を行います。		○		・農地流動化支援事業、農地利用集積事業、国営 農地基盤整備事業の実施継続
				農地所有者と町による利用推進の仕組 みをつくります。		○	所有者	
		3	公共施設等を中心に自然エ ネルギーの導入を進める	移住促進政策における、短・中・長期のお 試しプログラム等において活用検討しま す。		○		
雪氷熱、風力、中小水力、地中熱、温泉熱、 太陽熱等の自然エネルギー利用拡大に向 けた取組を進めます。	○			○	事業者	・環境講演会「ニセコ町が消滅しないために何をす べきか」の開催		
4	民間施設への自然エネルギー 導入の促進	自然エネルギーの積極的な導入により、温 室効果ガスの削減を進めます。	○	○	事業者	・公共施設での地中熱ヒートポンプの運用		
		自然エネルギー研究会等の活動を支援しま す。	○	○		・ニセコ自然エネルギー研究会支援		
5	スマートコミュニティの構想につ いて研究と検討を深める	公共施設への地中熱利用ヒートポンプ等先 導的な自然エネルギーの導入を推進しま す。		○		・平成26年度までに公共施設の地中熱ヒートポン プ導入5施設、太陽光パネル設置1施設		
		導入後のコストや効果等に関する情報を公 開します。		○		・町民センター地中熱ヒートポンプ導入効果の情報 収集		
省 資			民間施設への導入に向けて、導入後の状 況等に関する情報交換の場を運営しま す。	○	○	事業者	・雪氷倉庫導入促進事業補助(利用者なし)	
			スマートコミュニティ実現に向けて調査研究 を進めます。		○		・環境モデル都市アクションプラン作成	
			リユース、リサイクル、リデュースについて啓 発を行います。		○		・町広報誌の「クリーンステーションコーナー」にて啓 発	

		環境プロジェクト	住民	行政	その他	平成26年度実績	
を大切に使う取組	3	1 リユース・リサイクル・リデュース(3R)の定着	省資源・省エネルギーに関する多様な知恵や工夫の情報の蓄積と情報発信を行います。		○		
			“もったいない”精神を文化活動として楽しむ住民活動等を促進・支援します。	○	○		
			DIY等リサイクルに関する啓発を行います。		○		
		2 省資源・省エネルギー型の生活への切り替え	エコカーへの更新を進めます。	○	○	事業者	・スマートエネルギー機器(電気自動車等)デモ展示(産業まつり会場)
			一般住宅の省エネ改修補助を実施します。		○		・住宅省エネルギー改修促進補助金 実績1件
			デマンドバス等による公共交通網の拡大展開を進めます。		○		・デマンドバスの運行
	4	1 ごみの分別が徹底できるよう周知を図る	ごみの分別がわかりやすくなるような講習会や見学会等、工夫した啓発を行います。		○		・町ホームページ、広報誌でごみの分別等を周知
			分別の工夫アイデアを公募し情報交換する広報活動を行います。		○		
		2 ごみの排出量の低減に向けた取組を行う	ごみ排出量増加傾向の背景分析を行います。		○		・平成25年度一般廃棄物処理基本計画の全面改訂を行った。
			ごみの排出量削減に向けた啓発を強化します。		○		・町広報誌の「クリーンステーションコーナー」にて啓発
			グリーン購入に関する情報提供と実践を進めます。	○	○	事業者	
		3 ごみの行方についての情報を共有する	ごみ処理や再分別のリサイクル施設等の見学会を実施します。		○		・ニセコ町一般廃棄物最終処分場の施設見学の随時受け付け(申込なし)
			生ごみの自家堆肥化を実践しているケースについては、野生動物対策を啓発します。		○		
		4 ごみ処理に関する環境負荷等の情報を共有する	堆肥センターで作られる堆肥の消費拡大を進めます。	○	○	事業者	
			LCAによる評価算出を試行します。		○		
	5 河畔や森林等見えない場所への不法投棄を防ぐ	水辺における農薬や化学肥料の容器の不法投棄防止に向けた啓発活動を強化します。		○			
		周辺住民からの通報、環境美化巡回、クリーンアップ作戦の実施等による不法投棄の防止・抑制を図ります。		○		・職員による環境日会巡視を実施	
		悪質なケースに関しては、監視カメラの設置検討や警察への通報を行います。		○		・不法投棄について警察への相談	